

国立アイヌ民族博物館

「アイヌ民族に関する指導教材（動画教材／中学校向け）」活用ガイド

● 中学校学習指導要領（平成29年告示）および解説におけるアイヌ民族に関する記述

● 第2章 各教科 / 第2節 社会 / 第2各分野の目標及び内容 / 3 内容の取扱い

「鎖国などの幕府の対外政策と対外関係」については、オランダ、中国との交易のほか、朝鮮との交流や琉球の役割、北方との交易をしていたアイヌについて取り扱うようにすること。その際、アイヌの文化についても触れること。

○ 【解説】 社会編 第2章 社会科の目標及び内容 / 第2節 各分野の目標及び内容 / 2 歴史的分野の目標、内容及び内容の取扱い / (2) 内容 / B 近世までの日本とアジア / (3) 近世の日本

対外関係については、(略) 蝦夷地においてアイヌの人々が、海産物など「北方との交易をしていた」(内容の取扱い) などについても扱い、統制の中にも交易や交流が見られたことに気付くことができるようする。また、「アイヌの文化」(内容の取扱い) については、「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議(平成20年6月6日衆議院・参議院本会議)」、「アイヌ文化の復興等を促進するための民族共生象徴空間の整備及び管理運営に関する基本方針について(平成26年6月13日閣議決定(平成29年6月27日一部変更))」を踏まえ、先住民族として言語や宗教などで独自性を有するアイヌの人々の文化についても触れるようにする。

○ 【解説】 社会編 第2章 社会科の目標及び内容 / 第2節 各分野の目標及び内容 / 1 地理的分野の目標、内容及び内容の取扱い / (2) 内容 / C 日本の様々な地域

例えば、「①自然環境を中核とした考察の仕方」を基に九州地方や北海道地方を取り上げる場合、(略) アイヌの人々の言葉に起源をもつ地名を導入し北海道開発の歴史的背景などとも関連付けたりして、九州地方と比較しつつ多面的・多角的に調べ、考察することで、(略) 地域的特色や地域の課題を捉えることも考えられる。

○ 【解説】 美術編 第3章 各学年の目標及び内容 / 第2節 第2学年及び第3学年の目標と内容 / 2 内容 / B 鑑賞

伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深める(略)では、日本文化の根底に受け継がれてきた独自の美意識や創造的精神、生活に求めた願いや心の豊かさなどを捉えさせることが重要である。また、それぞれの時代に見られる表現の特性や、アイヌや琉球の文化などの各地域の文化の独自性にも着目させ、日本文化の多様性についても学ばせるようにする。



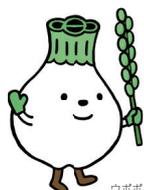
● 本教材のチャプター一覧

※YouTubeのサイトで再生するとチャプター頭出しの機能が使えます。mp4動画ファイルではチャプター機能は使えません。

No.	タイトル	主な内容		時間	開始～終了
1	イントロダクション	概要	現代のアイヌ民族	1:49	0:00～1:49
2	受け継がれていく豊かな文化		2900年前頃～13世紀頃のアイヌ文化	2:08	1:49～3:57
3	アイヌ語と私たちの暮らし	アイヌ文化	アイヌ語	2:01	3:57～5:58
4	アイヌ民族の精神文化(世界観)		カムイ	2:01	5:58～7:59
5	アイヌ民族と北方の交易	交易 (室町時代)	元・明との関係	0:31	7:59～8:30
6	和人との関わり～交易の活発化～		安藤氏との交易、コシャマインの戦い	1:50	8:30～10:20
7	コタン(集落)の生活	アイヌ文化	集落	1:19	10:20～11:39
8	和人との関わり～松前藩の交易独占～	交易 (江戸時代)	黒印状による松前藩の交易独占	0:57	11:39～12:36
9	和人との関わり～武士との交易～		商場知行制	1:08	12:36～13:44
10	和人との関わり～和人への対抗～		シャクシャインの戦い	1:21	13:44～15:05
11	幕府に献上される蝦夷錦		サンタン交易	1:15	15:05～16:20
12	和人との関わり ～支配儀礼としてのオムシャ～		場所請負制、オムシャ	0:52	16:20～17:12
13	和人との関わり～商人の交易・雇用～		商人による漁場経営	1:12	17:12～18:24

● 本教材活用例：社会科（歴史的分野）

分野	学年	学習指導要領 「内容」	授業内容例	視聴チャプター ◎動画から学べること
歴史的分野	1	B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本 (ア) 武家政治の展開と東アジアの動き	【室町時代】 室町時代の外交面について 授業事例あり	チャプターNo.5,6 ◎アイヌ民族と北方の交易について
	2	B 近世までの日本とアジア (3) 近世の日本 (ア) 江戸幕府の成立と対外関係 ※「学習指導要領及び解説におけるアイヌ民族に関する記述」参照	【江戸時代】 江戸時代初期の外交面について	チャプターNo.8～13 ◎江戸時代におけるアイヌ民族の交易や和人との関わりについて



ウポポイPRキャラクター
トッレツポん

文化や生活について補足する場合、チャプター No.1～4,7 も視聴すると、より理解が深まるポん♪

● 本教材活用例：社会科（地理・公民的分野）

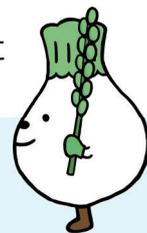
※本指導教材は社会科歴史的分野の指導を中心に想定していますが、地理的分野・公民的分野でも有効的に活用できます。

分野	学年	学習指導要領 「内容」	授業内容例	視聴チャプター ◎動画から学べること
地理的分野	1	B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境	世界各地における人々の生活やその変容の学習において、とくに生活と文化との関わりや、文化の多様性、アイヌ文化について 授業事例あり	チャプターNo. 1～4, 7 (から選択) ◎先住民族として言語や宗教などで独自性を有するアイヌ民族について
	2	C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域	日本を七地域に区分したうちの北海道地方の学習において、とくに北海道の歴史的背景について	チャプターNo. 1～4, 7 (から選択) ◎アイヌ語地名、北海道の歴史、先住民族アイヌの文化等について
公民的分野	3	A 私たちと現代社会 (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色	現代における文化の意義や影響について	チャプターNo. 1～4, 7 (から選択) ◎先住民族としてのアイヌ民族、アイヌ語とくらし、アイヌ民族の精神文化、文化の継承の動きについて
	3	C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	日本国憲法の基本的原則である基本的人権の尊重の学習において、とくに平等権の内容について	チャプターNo. 1～4, 7 (から選択) ◎「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」(2008)、「アイヌ民族施策推進法」(2019)によりアイヌ民族が先住民族として位置づけられていること、アイヌ語、アイヌ文化について

- 本教材は、総合的な学習の時間や社会科以外の教科でアイヌ民族に関する題材を取り扱う場合や、ウポポイ訪問の際の事前学習にもご活用いただけます。
- 本教材は、主にアイヌ文化や室町時代から江戸時代にかけてのアイヌの交易を紹介しています。現代のアイヌ民族については（公財）アイヌ民族文化財団の動画教材『もっと知りたい！私たちのこと。』（URL: https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_bunka/introduction.html）などで紹介しています。

● 社会科の指導における、3年間を見通した本教材の活用

年間の指導計画および3年間の系統性を意識して、以下のようなパターンが想定できます。複数回視聴させることで、振り返りを促し理解を深めさせることができますが、重複を控えるようにプランを練ることも可能です。



3年間の系統性を意識した活用モデルの一例

中学1年生 地理的分野

B 世界の様々な地域
(3) 世界各地の人々の生活と環境
★民族や文化について指導する場面

例 チャプター No.1～4を視聴
アイヌ語やアイヌ文化について興味や関心を持たせ、理解させる。

中学1年生 歴史的分野

B 近世までの日本とアジア
(2) 中世の日本
★室町時代の東アジアの動きについて指導する場面

例 チャプター No.5～6を視聴
室町時代のアイヌ民族の交易やコタンの生活について理解させる。

中学2年生 歴史的分野

B 近世までの日本とアジア
(3) 近世の日本
★江戸幕府初期の交流・交易について指導する場面

例 チャプター No.7～10を視聴
江戸時代のアイヌ民族の交易について理解させる。

中学3年生 公民的分野

C 私たちと政治
(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
★平等権について指導する場面

例 第1学年で視聴したチャプター No.1を再度視聴
アイヌ民族が先住民族と位置付けられていることを確認させる。

★2回目以降に視聴する際には、必要に応じてすでに指導を終えている内容のチャプターを視聴することで、生徒に既習事項を振り返らせることができます。

● (公財) アイヌ民族文化財団のウェブサイトのご紹介

公益財団法人 アイヌ民族文化財団のウェブサイトではアイヌ文化を紹介する動画などのコンテンツをご用意しております。生徒の興味関心・学習状況にあわせてご活用ください。

公益財団法人 アイヌ民族文化財団 ▼ <https://www.ff-ainu.or.jp/index.html>

アイヌ文化全般について知りたい ▶ アイヌ文化ポータルサイト https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_bunka/index.html

アイヌ語について知りたい ▶ アイヌ語ポータルサイト https://www.ff-ainu.or.jp/web/potal_site/index.html

URLは2024年3月時点のものです。

公益財団法人アイヌ民族文化財団は「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」に基づき、国の指定を受け「民族共生象徴空間（ウポポイ）」の管理運営を担うとともに、アイヌ文化の振興等に関する各種事業を実施しています。

民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）は、アイヌの歴史・文化を学び伝えるナショナルセンターです。国立アイヌ民族博物館は、先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与することを理念としています。

民族共生象徴空間（ウポポイ） <https://ainu-upopoy.jp/>
国立アイヌ民族博物館 <https://nam.go.jp/>
北海道白老郡白老町若草2丁目3番1号



NATIONAL AINU MUSEUM
国立アイヌ民族博物館